

教育長	教育部長	課長	指導主事	課長補佐	主査	係	保存区分
							永・10 5・1

平成30年大口町教育委員会10月定例会議

平成30年10月31日

午前 9時30分 開 議

大口町立大口中学校 1階 会議室

議事日程

日程第1 教育長報告

日程第2 議事録署名者の指名

日程第3 議 題

議案第21号 大口町教育委員会後援名義の使用許可について

日程第4 連絡事項

- (1) 大口町教育委員会後援名義の使用許可の報告について
- (2) 平成30年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
- (3) 秋の企画展「地域の災害を知る～入鹿切れ～」について
- (4) 行事予定について
- (5) 各課からの連絡について

日程第5 その他

出席者

教 育 長 長 屋 孝 成
委 員 藤 田 金 生
委 員 水 谷 恵 子

教育長職務代理者 鈴 村 由布子
委 員 丹 羽 茂 文

説明のため出席した者

生涯教育部長	平岡寿弘
学校給食センター所長	江口靖史
町史編さん室次長	木浪浩行
学校教育課長補佐	兼松昌史

生涯学習課長	丹羽武弘
町立図書館長補佐	吉田桂志
学校教育課長	倉知千鶴

◎開会

○長屋教育長 それでは、おはようございます。

定刻になりましたので、始めたいと思います。

本日の出席委員は4名であります。定足数に達しておりますので、これより平成30年大口町教育委員会10月定例会を始めます。

なお、傍聴人はありません。

(午前 9時30分)

◎日程第1 教育長報告

○長屋教育長 日程第1、教育長報告。

諸案件の報告をさせていただきます。

先回は9月26日でしたが、それ以降、早速10月1日には台風24号が接近しました。前日に暴風警報が発令されて、10月1日の朝3時ごろに解除されたということでありまして、このときは予定をうまく、給食センター所長が読んでおりまして、給食を実施することができてよかったなあと思います。台風については、今年度はたくさん上陸したわけですが、今、台風26号が台湾あたりにいるわけですが、これがまたどう東寄りになるか少し心配をしているところであります。

また、朝晩大変涼しくなりまして、10度を切るということで、季節の移り変わりを感じるところであります。

10月はいろいろなことがありました。とりわけ運動会関係、スポーツ関係、遠足、自然教室等、大きな行事を各学校が無事に終えまして、行事を通して児童・生徒は一段と成長しているのではないかなあと考えております。

また、学校教育課の大変重要な業務であります就学時健康診断につきましても、無事終わりました。今のところ、大口南小学校は52名、大口北小学校へ105名、西小学校は83名が入学予定となっております。今月、11月末の大口町の就学支援委員会で適切な指導ができるように準備を進めていきたいと思いますので、また委員の皆様にはよろしくお願いいたします。

それから10月、大変びっくりしたことの一つは、ちょうど大口中学校の体育大会の日に、このそばの町民会館で野生の猿が保護をされました。近辺のボス猿ではないかと、ボス争いに敗れたのがふらふら出てきたのではないかなと言われているようですが、私も猿を見て、何かリングを食べさせようとしたら、それは受け付けんとぴっと捨てちゃったということで、野生の本能といますか、矜持というか、すばらしいなと思って眺めました。そんなことがありました。

事務協関係につきましては、2年間の研究委嘱校の扶桑北中学校、岩倉南部中学校の発表会

が無事終わりました、委員の皆様にも御参加いただきありがとうございました。

また、10月24日には、扶桑町図書館で事務協の10月会議が開催されまして、この会では、例年のごとく平成31年度に向けての人事異動方針、事務協の重点目標とか事業計画、予算案等が審議をされました。

また、尾張教育事務所の所長、次長、課長等の挨拶の中で重要な件が3点ほどございました。まず一つは、新聞で大変問題になっております障害者雇用について、法定雇用率に達していないと。本当は2.4%が法定雇用率であるけれども、現状は愛知県教育委員会関係も1.17%で、再調査をすることになっております。

それからもう一点は、学校あるいは教育委員会と職員団体の36協定が新聞でも取り沙汰されておりましたが、愛知県は結ばれていないということで、今後また、県の指導を受けたりして整備していかなければならないと思っております。

それから、愛知県では、女性の管理職登用とか若手の管理職登用がなかなか下位のほうにあったけれども、この点についてはだんだんパーセントが上がってきていることが話の中でありました。

それから、不祥事防止について、本当に残念な話ですけれども、パチンコのプリペイドカードを拾ってパチンコをやったという事案が出てきて、懲戒処分の対象になっているという話がありました。

それから、教員採用試験も無事に終わったということですが、それぞれ年々倍率が下がってきておりまして、志望者数の減少が問題になっているということでもあります。

それから、ちょっとうれしい話題ですけれども、教職員の表彰につきましては、丹葉で4名表彰されましたが、そのうち1名、大口南小学校の實松教諭が表彰されたということで、うれしいことでもあります。

それから、そろそろ平成31年度の人事に向けての準備を進めていく段階であります、10月の段階で各学校長先生の意見書をもとに懇談をし、各学校の次年度に向けての人事をどうあるべきか、話し合いを進めたところであります。

それから、愛知県の大きな内容ですが、杉原千畝という人ですね、第二次世界大戦のときに海外へ逃げ帰らなければならないユダヤ人迫害に対して、本国の外務省の考えを無視して、勝手に人道的な側面からビザを発行したという人材が愛知県の瑞陵高等学校で学んだということで、そこに「センポ・スギハラ・メモリアル」がつくられ、その記念式典がありまして、そこへ参加をするという貴重な機会も得ました。委員の皆様も、もし機会があればぜひ訪ねただけるといいかなと思います。

それからもう一件、とりわけ児童・生徒関係についてですが、大きな行事を通して子供たち

が成長しているのは事実であります、1件、北小学校でいじめが発生をしてちょっと問題になっておりますので、それについて、お手元に北小学校発出の学級担任についてのお知らせという文書が出ておりますが、これは昨日、発送されたものであります。

今後、また状況に応じまして、委員の皆様詳しくお知らせすることがあるかなと思います、御承知おきだけしておっていただきたいと思います。

以上で報告とさせていただきます。

◎日程第2 議事録署名者の指名

○長屋教育長 それでは、日程第2、議事録署名者の指名ということで、議事録署名者には、鈴木由布子教育長職務代理者と丹羽茂文委員を指名したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

◎日程第3 議 題

議案第21号 大口町教育委員会後援名義の使用許可について

○長屋教育長 続きまして、日程第3、議題に入ります。

議案第21号 大口町教育委員会後援名義の使用許可について、事務局、説明をお願いいたします。

○兼松学校教育課長補佐 議案第21号 大口町教育委員会後援名義の使用許可について。

別紙のとおり後援名義使用許可申請がありましたので、大口町教育委員会の議決を求める。
平成30年10月31日提出、大口町教育委員会教育長 長屋孝成。

提案理由、この案を提出するのは、大口町教育委員会後援名義使用に関する要綱第5条により審査を求めるため必要があるからである。

資料を1枚めくっていただきますと、申請書になっております。

申請者、NPO法人こどもサポートクラブ東海、代表者 三輪宮子様。事業名、特別支援教育・療育の現場支援と、親子向けの早期支援活動。目的、発達障害の理解を深め、支援のスキルを学ぶ。保護者・教師・保育士・支援員のスキルアップ。事業概要としまして、発達障害の専門家の講演会となっております。期日が平成30年12月22日土曜日でございます。開催場所が犬山市役所の2階会議室となっております。

チラシの案が3枚ほどめくっていただくと続いております。

実は、NPO法人こどもサポートクラブ東海さんは、ほかの事業で後援名義をいただいております。夏休みのこどもカルチャー講座を毎年後援名義で出しておりますが、今回こちらの事業もチラシ等の配布という面で後援名義をしたいということで提出をされました。

あと、犬山市については、過去から後援名義をもらっているということで、今年度も10月16日現在で後援名義の許可が出ていることを確認しております。

簡単ですが、以上でございます。

○長屋教育長 ありがとうございました。

説明が終わりましたが、質問、御意見等ございませんか。

よろしいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 ないようですので、採決に入ります。

本案は、原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○長屋教育長 ありがとうございました。

異議なしと認めます。よって、本案は可決されました。

◎日程第4 連絡事項

○長屋教育長 日程第3については、今回は本案のみでありますので、続きまして、日程第4、連絡事項に入ります。

(1)大口町教育委員会後援名義の使用許可の報告につきまして、事務局、お願いします。

○兼松学校教育課長補佐 大口町教育委員会後援名義の使用許可の報告についてでございます。

このことについて、大口町教育委員会後援名義使用に関する要綱第5条第4項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

使用許可でございます。

1件でございます。

申請者、ルミナスクラブNPO法人アスペエルデの会尾張支部。許可年月日、平成30年10月17日。事業名、H30年度発達障がい理解啓発セミナー。

実績報告7件でございます。

1件目、大縣神社夏祭実行委員会。許可年月日、平成30年2月14日。事業名、第48回八ツ八祭献書展。

2件目です。株式会社平安閣。許可年月日、平成30年2月23日。事業名、「ありがとうを贈ろう。」キャンペーン。

3つ目、申請者、公益社団法人小牧法人会女性部会。許可年月日、平成30年4月25日。事業名、税に関する絵はがきコンクール。

4つ目、申請者、斎藤公子のリズム遊びで子育てを応援する会。許可年月日、平成30年5月

30日。事業名、「斎藤公子のリズム遊び」で楽しく遊ぼう学ぼう。

5つ目、申請者、愛知県服育研究会。許可年月日、平成30年5月30日。事業名、服育発表会。

6つ目、申請者、丹羽ライオンズクラブ。許可年月日、平成30年6月1日。事業名、第12回丹羽郡中学生スピーチコンテスト。

7つ目、申請者、名城尾北会。許可年月日、平成30年5月30日。事業名、名城尾北会第26回セミナー。

以上でございます。

○長屋教育長 ありがとうございます。

何かございましたら。

よろしいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 じゃあ、次に行きます。

(2)番、平成30年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について、お願いします。

○兼松学校教育課長補佐 平成30年度要保護・準要保護児童生徒数一覧表になっております。

1枚めくっていただきますと、今回3名の追加がございました。上2人の北小学校のお二人については、今回新規で手当の対象になりましたので追加となりました。あと西小学校の1名につきましては、転入で追加になっております。10月末現在、トータルが小・中学校合計で要保護の人数が2名、準要保護は146名、合計148名になっております。以上でございます。

○長屋教育長 ありがとうございます。

よろしいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 続きまして、3番、秋の企画展「地域の災害を知る～入鹿切れ～」についてお願いします。

○丹羽生涯学習課長 歴史民俗資料館から企画展の御案内等々でございます。

今から約150年前に郷土大口町を襲いました大水害があったということで、題名を「入鹿切れ」で企画展を実施しております。

過去の災害を見て、また新たな防災につなげていければということで企画展をしました。

なお、期間は既に始まっております10月20日から12月9日まででございます、この間、裏面にもパンフレットがございますウオーキング、実際に現場を訪ねるというのが2回、それからシンポジウムも企画しておりますので、もしよければ御参加いただければと思っております。以上でございます。

○長屋教育長 ありがとうございます。

この件よろしいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 ふれあいまつりの折に、3日の11時から水谷委員がこの件の紙芝居もされると聞いておりますので、よければまた参加をお願いしたいと思います。

続きまして、行事予定につきまして、事務局、お願いします。

○兼松学校教育課長補佐 A3の行事予定の確認をお願いします。

11月になります。

教育委員さんにつきましては11月8日、西小学校訪問。11月13日、大中の合唱コンクール。15日の北小学校訪問。17日の南小学校の発表会。24日、北っ子発表会。29日が定例会で9時半から大口南小学校で、済みません、追記をお願いします。同日、町教研究会が大中で1時半からという予定でございます。30日、町教育支援委員会がありますので、鈴木委員お願いしたいと思います。

あと事務局ですが、学校連絡会を11月2日、これちょっと9時となっておりますが、時間が9時半です。済みません、訂正をお願いします。ふれあいまつりが11月3、4と予定されております。11月16日に献立委員会。11月18日は町史編さんの講座を10時から中央公民館の視聴覚室という予定になっております。

簡単ですが、11月は以上でございます。

○長屋教育長 11月よろしいですか。

最後の教育支援委員会は14時でしたね。

それでは、12月、お願いします。

○兼松学校教育課長補佐 裏面、12月、お願いします。

教育委員さんにつきましては、12月25日、教師力向上セミナーが午後で予定されておりました、27日、教育委員会の定例会、9時半から、中央公民館のC会議室で予定をしております。

事務局のスケジュールであります。12月1日が愛知駅伝となっております。議会が3、4と一般質問が入っております、学校連絡会が12月5日と。12月9日が資料館の秋の企画展が終了という予定がされております。12月14日、絵本カフェで、これ児童センターで図書館のほうが入っております。12月22日、クリスマスおはなし会で、中央公民館で10時半から予定がされております。あとは、12月28日が仕事納め式でございます。

簡単ですが、以上でございます。

○長屋教育長 ありがとうございます。

12月の予定につきまして。

定例会、よかったですか。

(挙手する者あり)

○長屋教育長 どうぞ。

○鈴村教育長職務代理者 定例会をもう少し早い日程に変えていただけないでしょうか。

○長屋教育長 いつぐらい。

○鈴村教育長職務代理者 昨年、もう一週間だったような気がするんですけども。

○長屋教育長 事務局、どうですか。

○兼松学校教育課長補佐 1週間だと議会と重なっちゃいますね。

21日金曜日はいかがですか。

○鈴村教育長職務代理者 済みません、26日以降はちょっと無理でして、それ以前ならいいんですけれども。

○兼松学校教育課長補佐 21日の金曜日はどうでしょうか。

○長屋教育長 今、12月21日金曜日という日にち変更が出ましたが、委員の皆様、どうですか。

いいですか。

○鈴村教育長職務代理者 大丈夫です。

○藤田委員 いいですよ。

○丹羽委員 いいです。

○水谷委員 いいです。

○長屋教育長 事務局、いいですか。

○兼松学校教育課長補佐 はい、21日金曜日9時半から中央公民館で……。

○長屋教育長 何か無理をしてここへ入れてもらいますが、じゃあ12月21日9時半でよろしくお願いします。

○鈴村教育長職務代理者 済みません、よろしくお願いします。

○長屋教育長 そのほか、いいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 それでは、行事予定につきましては以上で終わります。

(5)各課からの連絡ということで、順次お願いいたします。

○丹羽生涯学習課長 生涯学習課より、行事等の報告等々させていただきます。

まず報告事項でございます。

10月7日に開催をいたしました町民体育祭、台風25号の通過後の強風が非常に心配されましたが、無事に終えることができました。参加人数は2,800人でございまして、地区別の総合優勝が余野、それから準優勝が河北、3位にさつきヶ丘区という結果となりました。

次に、後期の登山教室です。つい先日、10月28日の土曜日に阿智村の蛇峠山を予定していま

して、参加エントリーも28名でしたが、このところ天気がよかったんですが、なぜかこの午前中だけ雨が降ってしまいまして、非常に下の状態もよくないというガイドさんからの報告もございまして、無念の雨天中止になりました。

それから、翌日、伝統芸能発表会、日曜日でございます。こちらにつきましては、9時半から小口城址公園のところで、非常に晴天で、今度はいい天気の中進めることができました。各地区、上小口、中小口、河北の獅子屋形、木遣り、それから北保育園の和太鼓の披露、それからゲストとして、お隣の江南市の安良棒の手保存会の方がそれぞれ披露をされました。

それから、冒頭、教育長先生からお話がありました台風関係でございます。社会教育施設、いろいろな被害に遭ったわけでございますが、とりわけフィールドアスレチック内に高木が倒れ込んで非常に使用ができなかったという期間がございましたが、修復も終わり、フィールドアスレチックは無事再開することができましたので報告をさせていただきます。

それから、その他事項としまして、総合運動場のナイター照明ですが、今年度、水銀灯からLEDの交換の工事を10月に進めておるところでございますが、時を同じくして、どうも北側の電気系統が絶縁してしまったと。ケーブル系統に問題があるかということで工事がとまっております、まずもってはケーブルを通電させる修復工事を現在してございます。利用者の方には大変御迷惑をおかけしておりますが、その都度連絡をとりながら進めておりますので、御報告をさせていただきました。

それから、今後の予定でございますが、ふれあいまつり、11月4日の日曜日、2日目でございますが、親子ふれあい事業を実施いたします。各小・中学校のPTAの方がそれぞれの出し物をして事業を展開されます。

それから、日にちは同じでございますが、先ほど日程表にありました12月1日に愛知駅伝の本番が開催されますので、その1カ月前ということで激励会が役場で、それから実際に現場に行きまして下見会を実施いたしますので、報告をさせていただきました。

私からは以上でございます。

○江口学校給食センター所長 続きまして、給食センターからですけれども、11月14日水曜日ですけれども、学校給食の試食会をここの大口中学校で実施する予定になっております。出席者といたしましては、文教福祉常任委員会の委員さん7名と、それから町長、教育長先生、それから生涯教育部長、派遣指導主事の天野先生、そして私の5人で、合計12人で今年度は大口中学校で試食会をやる予定ですのでよろしくお願いいたします。以上です。

○吉田町立図書館長補佐 図書館から御報告いたします。

10月27日、読書週間おはなし会ということで、おはなしサポーター養成講座を26年、27年と行いまして、養成講座の受講生の方にやっていただきまして、40名以上の参加がございました。

また、11月4日のふれあいまつりに図書館のほうに参加させていただきます。

健文の1階で、昨年は25名の参加があったと。ことしは紙コップを使ったけん玉と紙コップを使ったロケットを子供さん向けにやるということで、こちらは図書館にある本の中につくり方が書いてあるものでございます。それと、秘蔵本の展示として、仕掛け絵本ですとか、なかなか手にとって見ていただくには壊れてしまうというような本を展示と、絵本コーナーということで、疲れて回ってきた方がそこで子供さんと一緒に本を読むということで、昨年もお父さんと子供さん、娘さんというのが多々見受けられまして、好評をいただいております。ということをさせていただきます。

以上で御報告とさせていただきます。

○木浪町史編さん室次長 町史編さん室から御報告いたします。

10月、町史調査協力員の募集をいたしまして、1名の方に登録いただきました。それで、5日間、1日大体2時間強ですけれども、資料の作成のお手伝いをさせていただきました。

それから、3件ほどの聞き取り調査をさせていただいております。大手企業のOBの方から、企業誘致から現在に至るまでの動向についてお話を伺いました。

それから、老人クラブの方から、戦後の食事ですとか遊びについてのお話を伺いました。

それから、役場OBの方から、鈴木博町長から、酒井町政、それから森町長、その期間での重立った事柄についてお話を伺っております。

11月18日、先ほども御案内ございましたが、町史編さん講座ということで、最初の1時間が大口の生き物ということでお話をさせていただきます。そして、後半の1時間で昭和20年代の日記を使いまして、ワークショップを行います。日記については、所有者の許可をいただきまして、古い日記からどういったことが読み取れるかについてのワークショップを行います。以上でございます。

○倉知学校教育課長 最後に、学校教育課から報告をさせていただきます。

まず、お手元にけさ、資料をお配りしております。

小・中学校の荷物の重量検査結果というものでございます。

これは、9月13日から10月15日まで約1カ月間をかけて4校全ての学校、全ての学年で検査をしております。調査では、通学のときのかばんと手荷物、あと水筒などの全ての荷物の重量を調査しました。

小学校では、1日最低1学年2名、中学校では1学年最低3名を基準として実施しました。表のような結果になっております。

1年生で一番かばんが重かったのが西小学校の5.32、2年生では南小学校の5.48、3年生では北小学校の5.74、4年生では西小学校の6.09、5年生では南小学校の6.42、6年生では南小

学校の7.53ということで、全体的な平均として一番重いのが南小学校という結果になっております。

また、下の段の大口中学校におきましては、学年が上がるほど軽くなっているという結果も出ております。

とりあえず現状を把握したという状況でして、これからどうするかが大事なことなのですけれども、置き勉と言われるようなことも考えの中に入れながら、校長先生方と御相談をしてくわけですが、施設環境を変更することは難しい現状にございますので、少し手詰まり感を持っているところです。

それと、また別件ですけれども、この夏、随分暑い日が続きましたので、学校ではエアコンなどを子供たちの環境を考えて十分に使っていただくようなお話をさせていただきました。その結果ですけれども、この12月には補正を上げて、光熱水費を補充していかなければならないという結果になっておりますので御報告申し上げます。以上です。

○長屋教育長 ありがとうございます。

今、各課等から説明がありましたけれども、何か御質問がありましたら。

どうぞ。

○丹羽委員 図書館の蔵書って何万冊ですか。

○吉田町立図書館長補佐 今、9万4,000冊です。

○丹羽委員 ありがとうございます。

○吉田町立図書館長補佐 そのうち約6万冊が開架で、3万5,000冊ぐらいが閉架になっています。

閉架というのは、倉庫に入っている。開架というのが図書館内にあって、皆さんが見られるというふうで、ただ、OPACというタッチパネルの検索システムがございますので、それで書庫内のものも検索して持ってきてくれと言えば、職員が持ってまいります。

○丹羽委員 機械があるんですね。

○長屋教育長 いいですか。

○丹羽委員 はい、いいです。

○長屋教育長 大いに活用してください。

○丹羽委員 いやいや、この間、教育長が同志社へ行かれたときに、大口町の図書館よりたくさんあるじゃんと言われたから、大口町も結構あるなと思って。

○長屋教育長 あとよろしいですか。

はい、どうぞ。

○鈴村教育長職務代理者 小・中学校の荷物なんですけれども、例えば1年生の5.32は平均で一番重かったということなんですけど、個人的に一番重いか一番軽いというのはわかりますか、

小学校、中学校。

○倉知学校教育課長 ごめんなさい、今ちょっと手元に資料を持ってきていないのであれですが、また後日お知らせいたします。

○鈴木教育長職務代理者 どのくらい差があるのかなとちょっと気になったので。

○倉知学校教育課長 やっぱり個別で本当に違ってまして、すごい重い子もいました、正直。でも、軽い子もいるんです。

○鈴木教育長職務代理者 わかりました。

○丹羽委員 ついでに、南小は何で重いんですか。わからない。

○倉知学校教育課長 全般的に平均として南小学校が重いといいますが、どこの学校も5キロ台ですので、そこまではあれかなあとは思っております。

○兼松学校教育課長補佐 若干あるのが、運動会の前でしたので、まだ暑い時期だったので、飲み物を少し大きいのを持っている姿を何となくうっすら記憶としてあったり、体操服を高学年の子が、毎日汚れるみたいで持っている感がありましたので、ずうっと同じ時期ではないので、1カ月ぐらいの中ですので、若干そういったものもあるかなあとは。

○丹羽委員 それと、小学校6年生から中学校1年生にいくに倍になるんですね、あつという間に。

だって、3月まで6年生で、4月2日か3日から中1になったら倍を持たされるということですか、これ。

○長屋教育長 教科書の量もふえてきますし、しかし、今本当に全国的というか、全世界的に子供の健全な成長に障害をするというような研究もされていますし、今後、学校現場と相談をしたりして、適正な方法を探っていきたいというふうには思っております。

○鈴木教育長職務代理者 今の教科書って上下じゃなくて1冊になっていますよね。

○長屋教育長 教科によって違います。

○鈴木教育長職務代理者 だから、分厚いのが多くなったような気がします。

○長屋教育長 そうですね。

○鈴木教育長職務代理者 あと、ノートのある方をちょっと考え直したらいいんじゃないかなと思うんですけども、結局、学校訪問に行っても、私の子供たちのことを見ていて思ったんですけど、プリントで出されることが多いですね。プリントをノートに張りつけるので、さらにかさが増すので、その辺のノートの使い方をもう少し考えていただけたら、それだけでも減るんじゃないかなと思うんですけど。

○長屋教育長 教科書もカラフルになってきておって、結局、1冊当たりの重量がふえていますね。

○倉知学校教育課長 あと中学校は、先ほどうちの補佐が申し上げたように、季節的に9月だったんです。部活も活発で、水筒2本なんていう子もいたりしておりました。それから、中学校1年生に上がると急に倍というお話もあったんですけど、全国平均の体重を見てみますと、やっぱり中学校になると小学校から6キロぐらいふえています、平均的な体重が。ですので、倍の重さは無理だとは思いますが、それだけ体格もしっかりしてきているかなというのは、感想でありました。

○長屋教育長 よろしいでしょうか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 それでは、その他何か、もしありましたら。

はい、どうぞ。

○丹羽委員 たわいない質問なんですけど、大口町にハザードマップってありますよね。

○長屋教育長 はい。

○丹羽委員 あれって、どこがつくられるんですか。

○長屋教育長 町民安全課ですかね。

○兼松学校教育課長補佐 防災、地震とか雨量のは町民安全課でつくっています。

○丹羽委員 それと、自然災害がことし非常に多くて、ニュースでもいっぱい見るんですけど、大抵、公立の小・中学校の体育館に避難されますよね。各町民さんは、僕もよく知らないんですけど、自分がもし何かあった場合にどこへ避難するかは、2万3,000人みんな知ってみえるんですかね。

○倉知学校教育課長 広報などにはPRをしておりますし、もちろんハザードマップにも書いてはあるんですけど、全員が知っておられるかというと……。

○丹羽委員 でしょう。

何で言うかということ、この間、NHKか何かで真備町の小学校の校長先生が、公立の小・中学校は市町村の、要するに子供たちの教育も非常に大事なんだけど、こういう自然災害があったときの地域、市町村の住民の安全を確保するのも大事な公立小・中学校の使命だというようなことを言われていたんですね。ということは、教育委員会としても、真備町は何がミスったかということ、例えば自然災害において竜巻、地震、台風、大雨、洪水とかいろいろあるじゃないですか。そこに、このときは来てはいけませんよと。ここはでかい川で海拔が低いし、洪水になる確率があるから、洪水のときはうちの小学校はペケですとかいう表がつくってあったにもかかわらずという番組なんですけど、けども、あそこに逃げれば良いと思って逃げたら水が来たと。結局、ちょっと近くの山の上の神社に逃げて難をなつたということで、そこまできちんとあっても、ここの小学校は洪水のときは避難しなきゃダメですよ、水につかりま

すからとやってあっても来ちゃうと。

だから、その前の問題で、大口町民は、1つの中学校と3つの小学校があるんだけど、ここの区域はここに避難してくださいと。例えば、集会場とか学供があるんだけど、古くなって耐震がおぼつかないところもあるかもわからないし、そこへ逃げたために二次災害になっちゃうかもわからないし、大口町も今の入鹿切れじゃないけれども、何が起こるかわからないから、教育委員会としても、まず学校を管轄するならば、この地区は大口南小学校の例えば屋内運動場を開放しますとか、校舎を開放しますとか、何かそういうのをきちっと、広報というのは結構皆さんばらばらと見て、関係ないとすぐリサイクルセンターに行っちゃうもんですから、やっぱり教育委員会として各区長さんとか、総代さんなのか班長さんなのか、そういうのにずうっとやって、うちの部落は、この地区はここへやるんだよと。自然災害にはこういうものがあるけれども、ここはちょっと不適なところがあれば、不適だねというようなことをきちっとやっていかないと、真備町の小学校の校長先生が自然災害のときの地域住民の安全確保の場所でもあるんだから、全教員で支援をするというようなことを言ってみえたもんだから、小・中学校にはそういう重要な役務のうちが、児童・生徒の教育だけじゃなくて、そういうのもあるんだと聞いていたら、じゃあ、管理する教育委員会がそういう意味でのハザードマップを作成して、極端な話は、例えば南小学校のどこどこには避難していただくと、いつも水は今の1,000リットル保管していますよとか、乾パンがこのぐらいありますよとか、個々の住民にそういう防災グッズを買いなさいと言っているよりも、個々の住民がやると賞味期限の更新が非常に難しいですから、やっぱりこういう公的なところでみんなに見える化をして、もう水がなくなった、断水した、南小学校へ行けば1,000リットルのペットボトル、1リットルが何千本あるぞというようなことを周囲に見える化にしておいて、みんなが安全にいざというときは行けばいいんじゃないかなあと、この間テレビを見ていて思ったんですけれども、やっぱり教育委員会としても地域住民の安全、公立の小・中学校を利用した地域住民の安全確保にも一つ関与していますよというところが要るんじゃないかなと思いました。

○長屋教育長 ありがとうございます。

また、今の御意見、何らかの機会で町民安全課に伝えていきたいと思いますし、それから、実は先週の土曜日に町と地区が合同で避難訓練をやりまして、そこで北小学校区が中心でしたので、ちょっと藤田委員、そのことについて話してください。

○藤田委員 この間やらせていただきました。町当局と区長さん、全て協働でやらせていただきまして、でもいろいろお話が出ておりますけど、町内では7つの避難所やっただいて、それぞれ進めておっていただきます。正直言って外坪から北小学校というのは大変なことです、ちょっと困難かなということはありませんけれども、当日の避難訓練のときには、大口北小

学校のいろんな設備、マンホールトイレを設置とか、そういうことも全部やりまして、北小学校には防災倉庫がございますので、そこの中のいろんな道具も全部出して、皆さんがわかるようにさせていただいた。消防署も全部来てもらっていますので、一応こんな設備がありますよというところまではやりましたし、こんなことが大切だよということもやりました。

ただ、先ほどから水のお話が出ておりますけれども、大口町は水の確保はされていません。いろんな水の設備はありますが、いろんな箇所がありますけれども、水が現実には置いてあるということはないですので、実は北地域の自治組織で買って学校へ少しは入れてあります。ほかの学校もそんなふうに動いてもらえるようなあれは聞いております。ほかの学校も進めておいってくださいね。

いざ、学校に子供がおるときにそういうことが起きた場合、まずどうするか。防災倉庫までとりに行くようなこともできませんし、給水車自身も、実は丹羽消防の中で1台あるだけですね。この前も軽四に300リットルのポリタンクを入れて、運ぶ練習まではしました。でも、ポリタンク自身が掃除してありませんので、本日は飲んでいけませんよという想定でやったわけですが、そんな1台でくみに行っても、軽四に積んで、軽四350キロ積みですか、その中へ350キロのタンクは乗りませんので、300リットルを運んでもほんのわずかなものですから、そんなことなので、多少のお水は自治組織で入れたりしておりますが、いろんな形で町当局は進めておっていただきますけれども、まだまだで、みんなでやっていかないかなという課題になっておるような気がします。

だから、北小学校の対応がどういうふうにしていただけますかというお話も校長先生と時たまするんですが、北小学校の場合は1階が開放できるんじゃないかという、体育館と1階は開放してしまって、2階以上で授業とかそういう学校の機能が進められるんじゃないか。もし、いざという場合に避難所になったら、うちの学校はそうなるだろうねという想定は校長先生はしてみえます。そこら辺までのお話は。

○長屋教育長　ちなみに、人口どれだけに対して何人の参加だったというふうに、わかりますか。

○藤田委員　避難所のあれですか。

○長屋教育長　練習のとき。

○藤田委員　そこまではやっておりません。

○長屋教育長　参加者はどれぐらいでした。

○藤田委員　この間ですか。

○長屋教育長　はい。

○藤田委員　この間はどうぞしょう。

○長屋教育長　400は。

○藤田委員 せいぜいそんなもんでしょうね。

○長屋教育長 約1万何人ですかね。そこの中の400名ぐらいは訓練に参加したということで、なかなか全世帯に周知徹底というのは、現時点ではできていないかもしれません。

○藤田委員 今のところの成果として、ただ一つは、安否確認の訓練も去年ぐらいからやっておるんです。災害が起きたときに、ここのうちは無事ですよということが外に見えるようにタオルなんかをかけてくださいというのをしておるわけですけど、かなり去年の時点で30%、ことは50かそこらっておるんじゃないかと思いますが、それぞれの御家庭で、うちは無事です、みんな安全ですよのタオルを出してもらっておる。地域によっては、非常に浸透しておって、ほとんど80%ぐらいが出ておるような地域もあります。非常に少ないところもありますけど、そういうふうにして、それぞれが自分の命を自分で守ることが最初のテーマです。そんなことやって進めておりますが、水の話はあちこちで出ていますけど、今までのスタイルが水を置いて配るじゃなかったもので、水があるタンクがあちこちにあるんですが、そういうものがありますという形で進んできておるので、もう一つは、子供は学校におりますので、防災の食料と水だけは置いておいてあげればいいと思うんですが。学校へ来た状態で、地震とか、ぱっと起きたらどうするかって、うちへ帰ったって何ともなりませんし、コンビニの食料は1時間でなくなるでしょうね。あっという間にそういうものは全部なくなりますから、子供はうちへ帰っても水はない。親さんも右往左往してみえる。お迎え下校で子供を学校に置いておくにしても、水もない状態で置いておけんわね、口も渴きますから。場合によっては、夕方まで子供がお預かりということになるかもしれません。学校で渡すんですね、災害時。

○長屋教育長 そうですね。

○藤田委員 その間の水とかそういうものは、やっぱりこちらで確保せんでもいいかなと思っておる。水は手始め。

○長屋教育長 ありがとうございます。

○丹羽委員 さっきも私そういうこと言ったのは、例えば暴風警報が出ると学校は休みになりますわね。だけど、例えばうちの家内が民生委員をやっているから、暴風警報が出ると、自分の持ち分のひとり住まいの幾つ以上のお年寄りに、30人か50人民生委員さんは持ってみえるんですかね。そこに全部一斉にばあっと電話をかけ始めるんですね。暴風警報が出たから外に出ないようにしてください。もし、うちでいるのが不安ならば、中央公民館に行ってくださいという話になるんですよ。だけど、ひとり住まいの高齢者が、東海理化の辺の人が中央公民館に避難する前にどこかでひっくり返っちゃいそうでしょう。だから、だったら、そういう場合には、南小の体育館が開錠してありますから行ってくださいというふうに少しでも、それでも南小でも東海理化の辺の人たちは遠いと思うんですけども、やっぱり中央公民館しかない避

難電話というのは、非常に横で聞いていて大変だな、これ何人にかけておるんだと思って見ているんだけど、でも中央公民館といっても思ったもんですから、もう少し生涯学習のまちづくりならば、地域を開放して、大中でも南小でも地域に開放するっていうんですけど、生きていて初めて生涯学習ができるわけですから、まず安全確保を先行して地域の人たちに、ちょっとでも近い人に、それこそ千畝のビザじゃないけれども、全員には行き渡らないかもわからないけれども、少しは安全に確保できる地域が3つちゃんとあって、ここにも中学校あるんだから、そういうことをやっぱり教育委員会主導でやる必要があるんじゃないかなあとは思いうんですけれどもね。

○長屋教育長 ありがとうございます。

もし事務局のほう何か、いいですか。

部長。

○平岡生涯教育部長 非常に貴重な御意見賜りまして、ありがとうございます。

今言われたことは、本当に町として取り組んでいかなければならないことと思います。一度に全てができるわけではないと思いますけれども、まずやれることからやっていく。常々学校に水とか簡単な食料、避難をしてからということではなくて、今ですとゲリラ豪雨とかあって、子供たちが学校に待機する場面が想定されます。やはりそういうところをイメージしながら、すぐ台風とか地震とかというところへいつっちゃうんですけど、日々でもそういうことがありますので、まずは一番取っつきやすいところかなと思います。そういうところからやっていく。今、丹羽委員が言われたように、そのあたりを防災担当部局にも戻しまして調整をしていきたいと思います。いただいた御意見は本当に真摯に受けとめて、今後の課題とさせていただきますのでよろしくお願いします。

○長屋教育長 実は、私も防災訓練とか、それから台風が来たときも一応本部員で出てきているわけですが、ことしも大きな台風で、本当に倒木がいっぱい出たとき、その作業に当たる人数、精いっぱい交通の妨げにならないよう安全にということと、それから朝の児童・生徒の登下校用の道路だけは6時半からやって時間に間に合うようにということで必死にやって、何とかそのことはできましたけれども、もちろん信号が停電をして警察官もいないというような状況もあったり、じゃあ、警察がやれるかいったら、警察はなかなかそこまで手が回らないと。じゃあ、誰かできるかといったときに、誰もそれをやることはできんというようなことで、大きなものが来たときの問題点はいっぱい出ておりますし、それから、大口町自身は割合津波とか、あるいは大きな災害に対して結構地盤的にも強いところがあると。しかし、近隣、とりわけ名古屋から北部にお住まいの方とか、名古屋近辺の市町の方の後方支援をしていく立場にあるような場所ですので、防災に関する会議とマニュアルというのは立派なマニュアルができ

ているんですけれども、いざ一つ訓練をやるに当たっても問題点、疑問点がいっぱい出てきておりますので、やっぱり中身を通してより安全な暮らしができるようにしていく必要があるかなあと。その中でも、教育委員会の中でのこういう話は今までほとんどなかったですので、きょうの貴重な御意見を今後生かせるようにしたいと思いますので、ありがとうございました。

そのほか、よろしいでしょうか。

どうぞ。

○鈴木教育長職務代理者 先日、議会報告会に参加して一番感じたことなんですけれども、議員さん方は余り学校の現状を理解されていないかなと正直思いました。ですので、ちょうど今度、大口中学校で給食試食会があると言われたんですけれども、そのときにも、普通のふだんの生徒の様子を見ていただいたりして、もう少し理解してもらって、議員さんたちが理解していただければ、子供の学力向上のためには先生たちの負担を軽減、やっぱり予算を立ててもらわなきゃいけないので、もっともっと学校のことを知っていただきたいなあとすごく感じました。

○長屋教育長 貴重な御意見ありがとうございました。

今度、給食のことについてであります、センター長、もしよければ、そういう話も一言、積極的に生徒と触れていただきたいというぐらいのことをお願いしたいと思います。

○藤田委員 今の話が出てきてあれですけど、議会だよりとか何かでいろいろ出てきます。この間の報告会もありましたけど、正しくは学力・学習状況調査ですね。御意見をお話し合いしてみえるときに、何か学力状況とかが抜けちゃって、学力テストがどうとかと。学力テストというのは昔あってあれですよ。何かそれに近いようなニュアンスがだんだん出てきているような気がします、学力テストの点数がどうのこうのじゃなくて学力の状況。だから、そこら辺のところも、できるだけ正しく使っていただくとありがたいんですが。

○長屋教育長 議会のほうは、2つの面から迫られたと思うんです。地域の学力の向上を目指してということで、結局、学力をつけるためには学校だけで不十分であって、やっぱり地域の協力、家庭のあり方、こういうものも問題だという一つは提案ではなかったかなあとということと、それからもう一点は、やっぱり一番大切なことは先生方の児童・生徒と接する時間が必要であると。しかし、現状はこうこうこうなんですよという報告で、先生の在校時間を減らしていくとか、触れ合える時間をふやす、あるいは教科の授業研究にける時間を確保するためにはどうしたらいいかというのがもとにあったんではないかなあと想着、私も聞かせてもらいました。

いずれにしても、給食試食会は、給食のことだけでなく、学校の様子を知るいい機会にしていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

いいでしょうか、ほかに。

何か、水谷委員、きょう何にも……。

○水谷委員 皆さんの意見を聞かせていただいて、それぞれに思うことはありますが、先ほどの鈴村委員が言われた議会での答弁を広報などで見させていただくと、学校教育課に関する質問とかで、もう10年たっているんですけど、教科センター方式とはどういうものですかと聞かれている議員さんもあるので、わざとそういうふうに分かれているのか、どういうふうなんだろうと。ちょっと言い方が悪いんですけど、今さらそんなことを聞かれているのかなあとずっと常々思ったりしてまして、それに対して教育長先生や天野指導主事先生が一生懸命答えてくださっているのも載っておりましたのも存じております。

○長屋教育長 ありがとうございます。

きょうは、ここまでで。

○丹羽委員 教育現場のことは、議会に、議員さんたち全員、同志社中学校の見学会をやっていたらどうですかと言われたことがある。

○長屋教育長 議会事務局、今年度はもう行くところが決まっているみたいですので、来年度に向けて、こういうところもありますよという情報提供はさせていただきます。ありがとうございました。

○鈴村教育長職務代理者 報告会で出た大口が出している家庭での子育て10カ条に似たものが、この間いただいた南島原市、10カ条以外にもいろいろと参考になるなあということがとても載っていたので、こういった活動ができればいいかなと思ったんですけども。

○長屋教育長 ありがとうございます。

いずれにしても、今までの教育行政の中で子育て10カ条は、かなり大口町の中では定着して、それが保育園にまで少し広がっていったということは成果ではないかなと思っております。これが定着していけばいいんですけども、なかなか定着に向けてはまだまだという状況であります。

ありがとうございました。

これで、本日の全てを終わらせていただき、懇談ということで、丹羽委員さんからはこれで終わりと聞いておりますので、ありがとうございました。

(午前10時39分)

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

委 員

委 員